

教育ニュース

令和5年1月18日
Vol15

1月13日（金）レベルⅡ研修「臨床推論」を実施しました。

研修生たちは、レベルⅠ研修で「フィジカルアセスメント呼吸」を学び、今年度レベルⅡ研修では、6月に「フィジカルアセスメント循環」10月に「フィジカルアセスメント脳神経」12月に「救急室でのシャドー研修」を実施してきました。今回の研修では、まず「臨床推論」について講義を行い、その後事例を用いて今までの学びを活かしグループワークを行いました。

既往歴に脂質異常があり
動脈硬化が進んで脳梗塞が
起きたかもしれない。



神経症状について追加で
情報がほしい。
麻痺は？感覚障害は？



患者の変化に気づいたとき、
今まで学んできたフィジカルイ
グザミネーションを用いて
観察をしていきたい。

臨床推論の考え方の枠組み

認知	STEP1: 問題(主訴)の同定
思考	STEP2: 仮説形成 STEP3: 追加の情報収集 STEP4: 仮説検証
判断	STEP5: 判断
行動	STEP6: 行動



OJTのお願い

研修では、臨床推論のプロセスについては理解できたようです。しかし臨床判断に至る思考プロセスについて言語化することは難しかったようです。研修後受け持ち患者さんの関連図を作成するように伝えています。研修生が作成しものに先輩看護師の考えも追加し完成させてください。どんどん思考発話してください。また報告についてI-SBARCIについて説明しています。実践場面で活用できるよう指導をお願いします。